



## 村内小中学校で避難訓練の実施

### いざという時の対応のために

空気が乾燥し、暖房器具が広く使われ始め、火災の発生リスクが高まってくる10月から11月にかけて、村内小中学校で火災を想定した避難訓練を実施しました。この訓練は、いざ火災が発生したときに子どもたちが素早く避難できるようになるため行われています。

東小学校と南小学校では、校舎の中で発煙筒をたき、煙が充満する中を避難しました。児童たちは実際の火災さながら、煙を吸い込まないように口元をふさぎながら避難していました。また、大河原小学校では、万が一、着衣に火が移ったときの対応を習い、体育館内で実践していました。



消火器を使い消火活動の予行演習(昭和中和)



口元をふさぎ素早く避難(東小)



火が移ったときの対処法を学ぶ(大河原小)



煙で白くなった廊下をあわてず避難(南小)

## 11月21日 専門家が園を訪問 子どもの成長を見守る

村は乳幼児期の発育・発達の様子を保育園での集団生活の様子をとおして確認し、子どもたちの成長に合った支援に繋げるため、専門職(保健師、心理士、理学療法士)の先生とともに保育園を訪問しています。

11月21日、第一保育園へ理学療法士の榊原清先生(群馬医療福祉大学)と村保健師が訪問しました。子どもたちの成長に伴って変化する動きや筋肉の付き方、身体の使いにくさの有無などを園内での活動をとおして確認しました。



園児の様子を見守る榊原さん(右)

## 10月25日 東小学校でマラソン大会 声援を受け健脚を披露

東小学校(加藤正一校長)でマラソン大会が行われ、子どもたちがマラソンコースで健脚を披露しました。

日差しが眩しい陽気に恵まれた大会当日、子どもたちは、出発点となった学校校庭から周辺の公道に出て、1・2年生がおよそ1km、3・4年生がおよそ2km、5・6年生はおよそ3kmのコースにそれぞれ挑戦していました。

学校や周辺の沿道には、子どもたちの走りを応援しようとする多くの人が集まり、声援を送っていました。



快走する5・6年生男子



ニュース・トピックスでは、村の出来事や話題など昭和村の「今」をお知らせします。



## 11月3日 第56回村内バレーボール大会 秋空の下、バレーで汗を流す



選手宣誓をする昨年度優勝チームの齋藤涼哉さん

第56回村内バレーボール大会が開催され、29チーム、およそ400人が大会に参加しました。特設コートが設置された総合運動公園では9人制バレー、社会体育館ではソフトバレーボールがそれぞれ行われました。

当日は、澄んだ青空が広がり絶好のバレーボール日和。参加者は、各コートで練習の成果を発揮し、熱戦を繰り上げていました。

▶各部門の優勝チーム Aの部：エース、Bの部：青春しゅわしゅわクラブ、Cの部：とりころーるB、Dの部：チームわきあいあいG、ソフトバレーボールの部：大門



チームでボールを繋ぐ



繰り広げられるネットを挟んだ攻防



狙えサーブエース



## 11月8日 花の寄せ植え体験 花をとおして交流を深める

村社会福祉協議会(新木敬司<sup>あきよし</sup>会長)が運営するデイサービスの利用者と花の寄せ植えをとおして交流を図りたいと利根実業高校の2年生5名が訪問しました。

生徒たちは、デイサービスの利用者の手を取り、会話を楽しみながら花の寄せ植えを行いました。今回の交流をとおして、生活環境課グリーンライフコースの石坂沙羅さん(永井上)は「みなさんとお話ししながら寄せ植えが出来てよかったです」と寄せ植えをとおして交流ができたことに喜びを表しました。



デイサービスの利用者と協力して一緒に寄せ植え



## 11月3日 盗難防止パトロールを実施 農業経営を守る

秋の収穫シーズンを迎える中、農産物やトラクターの盗難被害を防ぐため、沼田警察署長臨席のもと農業委員会(林昭彦<sup>あきひこ</sup>会長)による盗難防止パトロール隊出発式が11月3日、役場で行われました。パトロール隊は、夜間を中心に村内各地の畑などを交代で見回ります。

堤村長は「今年こそは大きな被害が起きないよう協力をお願いしたい」とあいさつ。林会長は「手塩にかけた農産物などに被害がでないよう盗難防止にむけ警戒を強めていこう」と呼びかけました。



林会長の呼びかけに気を引き締める隊員たち





## 11月13日 村教育研究会開催 村の教育について研究

南小学校(吉野満由美校長)の6年生と3年生の授業で村教育研究会が行われました。村の教育に携わる関係者が集まり、各学年の授業を観覧。今後の教育について話し合いました。

公開された3年生の算数の授業では、籠を教室の中央に置き、同じ距離で玉を投げ入れるにはどうすればいいかを体験しながら学んでいました。また、6年生の国語の授業では、『鳥獣戯画を読む』を題材に、言葉の伝わりやすさ、伝え方を学んでいました。



6年生が話し合いするところを観覧する教育関係者



## 11月10日 出前授業プログラミング 進んだ課題に触れる

大河原小学校(平形隆正校長)で利根実業高校創生工学科機械コースの生徒7名によるプログラミングの出前授業が11月10日、行われました。

授業では、利根実生が日頃学んでいる機械及び制御分野の講義を行い、その後、制御、プログラミングされたドローンなどが実際に動く様子を観察しました。戸丸瑛斗君(5年)は「学校の授業と比べると難しい内容だったけど、やってみたら楽しかった」と話してくれました。



実物を見て動きの仕組みを学ぶ児童



## 11月22日、23日 村公民館で文化祭の開催 自慢の作品が一堂に集まる

村公民館と文化協会(新木一雄会長)が主催する第64回昭和村文化祭が村公民館で開かれました。

11月22日、23日と2日間に渡って開催された会場には、村内の小中学生や保育園児の作品や村文化協会加盟団体などが多くの作品を出展しました。

来場者は、出展された数多くの絵画、生け花、盆栽や書道などの力作を鑑賞しました。また、茶道の体験教室や将棋教室なども開かれ、会場を訪れた人は楽しんでいました。



園児の力作を楽しむ来場者



## 11月15日 東小で人権教室 人権について考える

人権擁護委員は、12月4日から10日の人権週間を前に、東小学校(加藤正一校長)の6年生を対象に人権について考える授業を行いました。

人権擁護委員の森峯子さん(上内出)によって「人権とは」を題材に授業が行われ、いじめに関する映像を見て学習しました。途中で映像を止めながら、この子はどう思っているかなど、児童たちへ質問を投げかけました。児童たちは、投げかけられた質問に答えながら人の気持ちについて考え学んでいました。



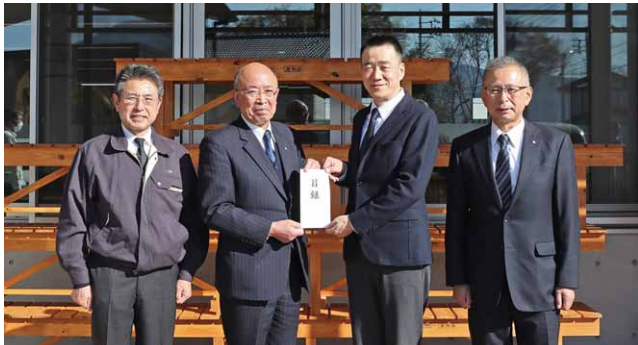
森さんの問いかけに応える児童



ニュース・トピックスでは、村の出来事や話題など昭和村の「今」をお知らせします。

## 11月27日 木製ベンチの寄贈 木製ベンチに感じる温かさ

株式会社関工務所(関敏孝代表取締役)が役場を訪れ「木製のベンチに触れて、木のぬくもりを感じてもらえれば」と木製ベンチ7台を寄贈してくださいました。毎年のご厚意ありがとうございます。



寄贈に来庁した(株)関工務所の関係者と堤村長

## 11月29日 鳥山畜産食品(株)の牛肉ですき焼き いい肉の日に舌鼓

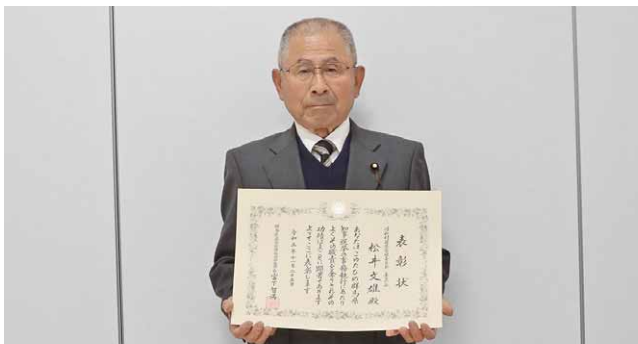
鳥山畜産食品(株)から提供された牛肉を使ったすき焼きが村内小中学校の給食に並びました。11月29日(いい肉)の日にかけて並んだすき焼きに子どもたちは目を輝かせていました。



すき焼きをおかわりする児童(南小学校)

## 11月25日 群馬県知事選挙に関する表彰 公正な選挙を管理していく

群馬県知事選挙における、明るい選挙と選挙管理執行の適正を期することに努力されたため、昭和村選挙管理委員会委員長の松井文雄さん(三ツ谷)が表彰されました。



表彰された松井さん

## 11月14日 関屋工業団地周辺清掃活動 地域貢献に一役

関屋工業団地4社(キャノン電子株式会社、藤森工業株式会社、味の素ファインテクノ株式会社、株式会社新鮮便)が地域貢献の一環として、合同で昭和インター線の清掃活動で汗を流しました。



清掃活動をする参加者

## 11月13日 フラワーメイトが花植え 花々が「昭和の湯」入口を彩る

フラワーメイト昭和会(小野英樹<sup>ひでき</sup>会長)が村総合福祉センター「昭和の湯」入口の花壇にビオラを植えました。小野会長は「訪れる人が少しでも安らぎを感じてもらえれば」と話していました。



花植えを行った会の皆さん

## 11月9日 給食にとらやのようかん 老舗の味を楽しむ

老舗和菓子店「とらや」のようかんが村内の全小中学校の給食に並びました。ようかんには村産の白小豆が使われていることから、今年も株式会社虎屋から提供していただきました。



ようかんを味わう児童(大河原小学校)